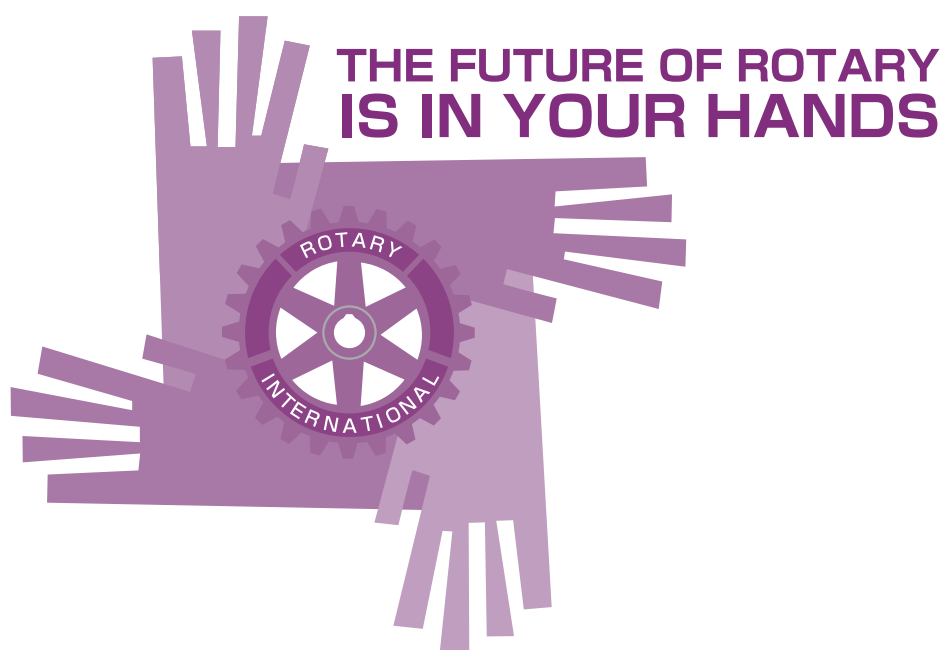


ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

2 vol.8



**ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660**

国際ロータリー第 2660 地区

2009～10 年度ガバナー

大谷 透

2009-2010 Governor's Monthly Letter

目次

表2	目次
1	<p>ガバナーメッセージ 世界理解月間によせて</p> <p style="text-align: right;">ガバナー 大谷 透</p>
2	<p>ガバナー・エレクト研修セミナー（GETS）に参加して</p> <p style="text-align: right;">ガバナー・エレクト 松本 新太郎</p>
3～4	<p>2009～2010年度 I M第7組報告</p> <p style="text-align: right;">第7組 I M実行委員長 亀井 克二</p>
5	<p>財団国際親善奨学生帰国報告会開催</p> <p style="text-align: right;">財団奨学金・学友委員会 委員長 山下 勝弘</p>
6	<p>広報委員会の活動報告</p> <p style="text-align: right;">広報委員会 委員長 中島 武</p>
7	<p>RAC海外研修に参加して</p> <p style="text-align: right;">ロータリーアクト委員会 副委員長 池田 佳弘</p>
8	<p>関西大学RAC認証状伝達式</p> <p style="text-align: right;">提唱クラブ 会長 渡辺 忠雄</p>
9～10	米山奨学委員会
11	ロータリー財団
12	2009年度 12月度 会員数・出席報告
13	文庫通信
14	お知らせ
15	ガバナー事務所案内

国際ロータリー第2660地区
ガバナー

大谷 透



2月は世界理解月間です。RIはロータリーの創始者ポール・ハリスが3人の友人と最初に会合を持った1905年2月23日を「世界理解と平和の日」とし、この日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と決めました。そして2月は「世界理解月間」と指定されています。

この月間中に、世界の各RCは国際平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するプログラムを行うよう要請されています。これまでロータリーが積み重ねてきた国際理解、友情、平和への貢献を認識し、更なる推進を強調する月とすることが求められています。

草の根レベルのロータリアンが国際的な友好関係を通じて平和をリードする勢力となることが期待されています。当地区では幸いにも殆んどどのクラブが独自の世界社会奉仕(WCS)プロジェクトを毎年実施しています。是非そのプログラムに参加し、現地の人々との交流を通じて「世界理解と親善・平和」を体感してください。WCS事業は担当委員だけのものではないのです。

ロータリー財団は強調事項として水の供給、貧困飢餓からの救済、識字率向上などへの同額補助金使用によるWCSプロジェクトを奨励し、世界平和フェローの育成やポリオ撲滅への資金援助など、世界平和を推進するための多くの機会を提供します。

RIは「国籍を異にする市民同士の相互理解を

通じて国際平和を追求する」ためにいろいろなプログラムを提供しています。ロータリー青少年交換、研究グループ交換(GSE)、国際親善奨学生などの国際親善大使としての草の根レベルの国際交流です。第2660地区も熱心にホームステイによる市民レベルでの国際交流に取り組んできました。その中で、私たちが特別な思いを込めて毎回実施しているのが「ヒロシマ訪問」です。平和記念資料館がアメリカも含めて、各国の若者に感銘を与えたのは、「誰かが誰かを声高に非難するのではなくて、ただ、ただ、このような不幸な出来事が世界で繰り返されてはならない」ことを、冷静に節度ある展示で訴えていることでした。

ヒロシマの慰霊碑については「過ちは繰り返しませぬから」という文面を、主語不在と批判する向きがあります。主語がなくても意味が通じるのが日本語です。この場合主語は万人に当てはまり、この悲惨な出来事がこの世界に二度とあってはならないという思いがこの慰霊碑に、あらゆる主義主張を超えて表現されていると思います。

「恐れ」よりは「希望」を、「争い」よりは「共生」を、「非難」よりは「友好」を。昨年4月、核兵器廃絶を訴えたオバマ大統領のプラハ演説以来、世界は大きく動き始め、9月の国連安保理の「核なき世界」への決議の一日でも早い実現を夢見ます。



国際ロータリー第2660地区
ガバナー・エレクト

松本 新太郎

(八尾RC)

地区ガバナーになるためには「国際協議会」への出席が不可欠ですが、それに先立ち二度に亘るGETSが開かれる決まりになっています。全国34地区から選ばれたガバナー・エレクトの皆さんが夫婦同伴で招集され、第一回目が9月11日と12日の2日間、品川プリンスホテルで、第二回目は11月18日に台場のホテルグランパシフィックでおこなわれました。

いわば「国際協議会」への参加を円滑にするための予行演習かと、当初、私自身、少し軽い気持ちで構えていたのですが実際にはとんでもありませんでした。スケジュールはびっしり息つく暇もないくらい、とりわけリーダー役をつとめられたパスト・ガバナーの諸先輩の情熱的なご指導のもと、ガバナーになるためになにが重要かを徹底的に叩き込まれました。終日、私は悶々としていました。時間が経つにつれて自分自身の浅学を思い知らされたからです。こんなことならもっともつと勉学に邁進しておくべきだったとか、果たして無事に任務を務めあげられるだろうかとか、さまざまな懊悩が胸裏を駆けめぐりました。しかし今

では泣きごとをいってはられない、誠心誠意全身全霊で持てる力の全てをだして第2660地区のために捧げたいと念じています。どうぞ皆さん、非力な私にどうか温かいご助力のほどを伏してお願いたします。

なお末筆になりましたが、1月におこなわれました国際協議会(カリフォルニア州サンディエゴ)での「国際交流の夕べ」には、われらがガバナー・エレクトの奥様方が余興として「東京音頭」を披露しました。男性諸君はせいぜい「アーヨイヨイ」の囃子に応じただけですが、大変好評でした。

2009年12月5日（土）、2009年～2010年度国際ロータリー第2660地区
第7組のインターシティーミーティングを開催

第7組 I M実行委員長

亀井 克二

(大阪なにわRC)

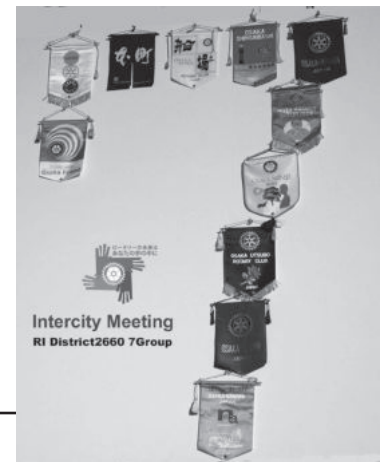
2009～2010年度国際ロータリー第2660地区
第7組のインターシティーミーティング（以下
IM）は、12月5日（土）、大阪なにわRCをホスト
クラブとして、大谷透G、松本新太郎GE、青木
禎一郎G補佐、田中壽秋G補佐Eのご臨席のもと、
スイスホテル南海大阪、浪華の間にて行われました。
今年度のIMのテーマは

IM第7組＝となり組 “相互理解と交友”

IMの開催主旨は、ロータリーの友にもあります
ように、地理的状态や広さなどにより地区が数ク
ラブの基準で区分されたグループ単位のクラブの
全員が集まり、合同で行う自由討論集会でありま
す。その主な内容は4大奉仕部門をしっかりとカ

バーしつつロータリーの特徴やプログラムなどを
検討し、その目的は会員相互の親睦と知識を広め
会員にロータリー情報を伝え奉仕の理想を勉強す
るために開催される、とあります。クラブ内で
IM実行委員会が発足した際、在籍年数が10年を
超える会員も多くいる委員のなかで、お隣クラブ
である10クラブについての情報は、会長、幹事
経験者ならば、会合や他クラブの訪問などの際そ
のクラブ情報を聞かれることもあるとはいえ、一
般会員はほとんど情報として入ってこない状況で
す。IMのおとなりクラブでありながら知らない
ことが多くあります。他クラブの活動内容を知る
ことで自クラブもまた、活性化をはかれるのでは





ないか、おとなりクラブを知ることでロータリー活動も親睦も深まるのではないか、そういった協議の中で今回のテーマを掲げさせていただき、11クラブにお願いしてクラブプレゼン担当者を決めていただき、協力を得て各クラブの奉仕活動やクラブ同好会活動など映像を通じ紹介していただきました。他クラブの活動内容の情報を身近に得ることで活動への関心も深まり、またその活動内容の多様性を感じることで自クラブの活動にも良い影響が得られたと考えております。討論会におきましても、討論の主題も明確になり活発な討論会になるのではないかと考えておりました

が、まさにそのとおりになつたと感じております。11クラブのプレゼン担当者様はじめ皆様方には資料作りに労力をかけていただき感謝しております。その努力の甲斐もあって大変興味深い活動報告、討論会が得られました。また、昨年引き続き地区補助金を活用し、11クラブ共同奉仕活動を行うことを目的にニコニコ募金活動も行われ、参加会員から多くの募金をいただきました。その募金は7組の地域施設への福祉事業とし後日活用させていただきます。地区役員の方々、参加会員の皆様方の協力のもとに活気あるIMを実行できましたこと、心からお礼申し上げます。



開催日 2009年12月5日
会場 會賓楼

財団奨学金・学友委員会
委員長

山下 勝弘
(東大阪RC)

財団国際親善奨学生の帰国報告会兼忘年会を、毎年12月にPSC主催で開催しております。今年は、財団学友担当の井上暎夫PGにもご参加いただき、顧問ロータリアン並びに地区の委員などを行っているロータリアンや、次年度出発する国際親善奨学生候補者とPSCメンバーなどで総勢30名での開催となりました。

例年と異なるのは、2月に第3回財団学友の集いを開催しますので、顔合わせも兼ねて、吉川邦英委員長をはじめとする研究グループ交換委員会の委員並びにアルムニ会の皆さまにもご参加いただいたことでした。

帰国報告を行ったPSCメンバー（元財団国際親善奨学生）は、2008-2009年度に留学をした柳楽有里さんと倉内菜穂子さんの2名でした。報告者は2名と少なかったのですが、彼女たちはそれぞれ留学先で貴重な経験をつんできたようです。

留学の本来の目的は学問ですから、国内でできない学問の経験もあったと思います。しかし、報告会で彼女たちが語ってくれたのは、留学先や研修先でお世話をいただいたロータリアンについて

でした。

ロータリー財団（TRF）は2013-2014年度から大きく変わろうとしています。現在の国際親善奨学生の制度はなくなり、新地区補助金を使って地区が単独で選考する奨学生と、グローバル補助金を使う人道的な分野に限定された奨学生の二通りになります。

新しい奨学生の制度については現在検討されている途中であり、最終的にどのようなものになるのか確定的なことは言えません。しかし、当委員会では心配しているのは、新しい制度のもとでは、現在のように留学先で顧問ロータリアンが奨学生のお世話をすることがなくなるのではないかということです。

今回報告のあったように、国際親善奨学生は留学先でロータリアンのお世話をいただき、それを貴重な経験として帰国してきます。今後、奨学金の制度が変わるとしても、留学先でのロータリアンとのつながりだけではなくしてはならないものと、改めて実感いたしました。



広報委員会
委員長

中島 武

(大阪堂島RC)

2009年7月から毎週日曜日（12月から水曜日）に産経新聞で「2660地区の元気人」という企画記事が連載中です。ユニークな経歴や活動実績をもつ地区内のロータリアンを紹介するもので、各クラブから推薦いただいたロータリアンを産経新聞の記者がインタビュー。ロータリークラブの「人」をクローズアップすることで、ロータリーを一般読者にも身近に感じてもらうのが狙いです。

また、ロータリーをより多くの方々にご理解いただくため、この記事を生産経新聞大阪本社の公式ホームページ「産経関西」にも転載。だれでも簡単に記事が読めるようにしています。なお、ここから第2660地区のホームページにもつながります。

さらに昨年に次ぐ第2弾として、ラジオ大阪でロータリークラブの番組をつくりまします。10分番組を10回放送する予定で、内容については現在検討中です。

こうして新聞、インターネット、ラジオという多彩なメディアをミックスさせ、多角的かつ積極的な広報を展開しています。なお新聞記事を記録として残すため、連載が終了した時点で記事を冊子にまとめ、会員全員にお渡しします。

一方、内部向けには広報委員会議で「良い広報悪い広報」と題する講演や記事の書き方の実践演習を行い、広報委員のスキルアップを目指しています。



クラブ広報委員長会議

ローターアクト委員会
副委員長

池田 佳弘

(大阪梅田R C)

私は、昨年10月31日から11月4日まで、毎年実施されています地区RAC海外研修に参加しました。当地区のローターアクター24名、地区ローターアクト委員会より辻本前委員長と私が参加し、総勢26名で、R I 第3400地区（インドネシア）のバリ島を訪れました。

31日は関西国際空港を午後6時に出発し、バリ・デンパサール国際空港に到着したのは現地時間深夜11時半、ホテル到着が午前1時を過ぎており、初日は移動だけで終わりました。

2日目、われわれはバスに3時間以上揺られ、山間部にあるバトゥカルというところに行き、現地のローターアクターとともに植樹を行いました。現地は熱帯雨林であり、樹木がうっそうと茂るジャングルなのですが、木材の伐採もかなりされており、その森林の保護のため、伐採した木と同じ数の木を植えなければならないとされており、植樹した木は、熱帯雨林気候により3～5年で伐

採できるまで育つとのことで、バリの豊かな気候に感心致しました。

現地では、第3400地区のバリにあるRACからローターアクター10数人の他、第3400地区のGEもウェルカムパーティーに参加して頂き、光栄の至りでした。

翌日以降は、ヒンドゥー寺院の観光や、バリ伝統芸能の鑑賞など、バリの歴史や文化に触れることができました。

ローターアクト委員として、いつも思うことですが、彼らの若さとバイタリティには感心させられます。今回の海外研修でも、それが遺憾なく発揮され、現地のローターアクターとの交流も和やかに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。また、帰国後の解団式の様子を見て、彼らはこの研修を通じて、得難いものを得たものと確信しました。



提唱クラブ
会長

渡辺 忠雄

(吹田江坂 R C)

関西大学 R A C は、吹田江坂 R C 提唱のもと、2009年11月7日に R I 第2660地区内で初めての大学 R A C としてチャーターメンバー 29名で創立されました。そして、2009年12月12日、自然に包まれた広大なキャンパスの関西大学百周年記念会館にて、R I 第2660地区大谷透 G はじめ阪口善雄吹田市長、吉川謹司 P D G、多数のロータリアン、ローターアクトご臨席のもと、また大学関係者は、楠見学長、上原理事長はじめ関係教授のご出席を頂き、R I 加盟認証状伝達式が挙行されました。一部の認証状伝達式では、大谷 G から関西大学 R A C 阪口会長へ認証状が伝達されました。引き続き会長就任挨拶で阪口会長は、「創立の R A C メンバーは、ロータリークラブと関西大学が共同開催している“秋のライラ”に参加した人たちが構成されており、メンバーの友情に支えられながら、大学内の R A C という特性を活かし

て、学生にしかできないことを企画し、活動していきたい」と表明し、ご臨席の皆様より好感と期待をいただきました。また、二部の懇親会は、地区 R A 津本委員長、地区 R A 原代表、関大五藤理事から励ましの言葉を頂き、続いて井上暎夫 P D G の乾杯のご発声で和やかに楽しいひと時を、中でも関大 R A C から歓迎の出し物として“古武道”、地区 R A から“ソーラン踊り”のお祝いのご披露があり、場内には歓声が上がって会場をより一層盛り上げていただきました。

提唱クラブといたしましては、総合大学という特性を活かした R A C の活動に期待し、参加される学生たちが魅力を感じ、R A の目的を達成する過程でリーダーになるために必要なことを取得し、そしてロータリーを理解していただくために、今後、助言をさせていただき、大学 R A C のモデルとなるように取り組んでまいります。



◎ 関西大学ローターアクト・クラブ認証状伝達式 2009年12月12日(土) 於：関西大学100周年記念会館 ◎



地区米山奨学委員会より

2009年11月末 全国寄付金合計額	391,942,410円(前年度比10.90%減)
第2660地区寄付金合計額	40,153,034円 (前年度比0.84%増)
2009年11月末 全国寄付合計トップ10	
	1. 第2650地区 40,404,786円
	2. 第2660地区 40,153,034円
	3. 第2590地区 39,196,460円
	4. 第2770地区 38,079,516円
	5. 第2750地区 32,940,105円
	6. 第2760地区 32,825,075円
	7. 第2580地区 26,506,300円
	8. 第2790地区 21,626,600円
	9. 第2640地区 21,336,000円
	10. 第2690地区 20,564,985円

ハイライトよねやま119号より

中国学友会総会in上海 参加のお誘い

上海万博への訪問と合わせ、中国の学友と交流しませんか？

2009年3月に正式に発足した中国学友会は、北京と上海の2つの支部で構成されており、今年の総会は7月に上海で開かれます。上海分会は2002年、第2630地区・中津川RC支援を受けて発足し、会員相互の親睦活動のほか、数々の社会貢献活動にも取り組んできました。

上海は中国経済の中心地であり、今年は万国博覧会も開かれます。上海分会では多くのロータリアンをお迎えして交流を深めたい、と総会後の懇親会を企画しています。クラブ単位での参加も大歓迎！多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

〈開催概要〉

詳細は1月末に米山奨学会ホームページに掲載します。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

- ・日 時：2010年7月17日（土）午前10時～
- ・場 所：上海国際会議センター（予定）
- ・登録料：12,000円/人（要・事前登録）
- ・登録締め切り：2010年3月31日（申し込み先は米山記念奨学会事務局）
- ・備 考：上海万博訪問と合わせたツアー（旅行会社企画）もご用意する予定です。

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2009年11月)

氏名	回数	クラブ名
市川 貴一	3 回目	大 東 中 央 RC
池田 文治	1 回目	大 東 中 央 RC
前田 博子	1 回目	大 東 中 央 RC
大東 禮子	3 回目	大 東 中 央 RC
古谷 勝紀	8 回目	東 大 阪 RC
河北 勝彦	3 回目	東 大 阪 RC
加茂 次也	2 回目	東 大 阪 RC
木室 清一	8 回目	東 大 阪 RC
小島 靖弘	3 回目	東 大 阪 RC
森田 康夫	3 回目	東 大 阪 RC
関 文男	4 回目	東 大 阪 RC
立岡 寛次	7 回目	東 大 阪 RC
高山 英幸	1 回目	東 大 阪 RC
辻本 一義	4 回目	東 大 阪 RC
植田 啓司	1 回目	東 大 阪 RC
山中 政夫	7 回目	東 大 阪 RC
安福 守	1 回目	東 大 阪 RC
横田 孝久	1 回目	東 大 阪 RC
浅野 光男	3 回目	東 大 阪 中 央 RC
森 豊一	3 回目	東 大 阪 中 央 RC
大森 慈祥	6 回目	茨 木 RC
樋田 之宏	3 回目	茨 木 東 RC
門田 守人	2 回目	大 阪 RC
廣川 治	2 回目	大 阪 東 RC
藤村 達夫	2 回目	大 阪 東 RC
野村 良男	2 回目	大 阪 東 RC
佐々木 恭一	1 回目	大 阪 東 RC
友廣 康二	1 回目	大 阪 東 RC
岡部 卓雄	7 回目	大 阪 平 野 RC
植村 宏一郎	3 回目	大 阪 平 野 RC
光信 昌明	5 回目	大 阪 城 南 RC
渡邊 邦雄	8 回目	大 阪 城 南 RC
右田 治彦	3 回目	大 阪 御 堂 筋 RC
中川 憲育	2 回目	大 阪 御 堂 筋 RC
大西 博孝	2 回目	大 阪 御 堂 筋 RC
武島 秀吉	1 回目	大 阪 御 堂 筋 RC
田村 謙之助	1 回目	大 阪 御 堂 筋 RC
荒石 義一郎	3 回目	大 阪 咲 洲 RC

高松 伸伍	3 回目	大 阪 咲 洲 RC
森 泰輔	4 回目	大 阪 心 齋 橋 RC
西村 拓夫	1 回目	大 阪 心 齋 橋 RC
鈴木 公平	5 回目	大 阪 心 齋 橋 RC
三上 美智子	2 回目	大 阪 フ レ ン ド RC
稲邑 清也	2 回目	千 里 RC
北垣 次彦	5 回目	千 里 RC
岡本 弘	5 回目	千 里 RC
奥本 利美	1 回目	千 里 RC
飯室 正樹	2 回目	摂 津 RC
木原 章夫	4 回目	摂 津 RC
茶橋 和夫	2 回目	摂 津 RC
山内 久生	4 回目	摂 津 RC
足立 善信	5 回目	吹 田 RC
石井 博章	4 回目	吹 田 RC
紙谷 正行	5 回目	吹 田 RC
河内 幸枝	2 回目	吹 田 RC
光吉 聖	6 回目	吹 田 RC
柳川 義行	4 回目	吹 田 RC
赤尾 進	2 回目	吹 田 江 坂 RC
木本 良三	2 回目	吹 田 江 坂 RC
西山 俊明	4 回目	吹 田 江 坂 RC
寺井 正昭	2 回目	吹 田 江 坂 RC
和田 貞雄	5 回目	吹 田 江 坂 RC
大津 彌平	1 回目	高 槻 西 RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2009年11月)

クラブ名	回 数
大 東 中 央 RC	7 回目
東 大 阪 RC	51 回目
茨 木 RC	21 回目
く ず は RC	15 回目
大 阪 RC	92 回目
大 阪 東 RC	72 回目
千 里 RC	28 回目
摂 津 RC	19 回目
吹 田 RC	49 回目
吹 田 江 坂 RC	21 回目



ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2009)

小島 靖弘	東	大	阪	RC	
吉崎 広江	東	大	阪	東	RC
源本 将人	く	ず	は	RC	
上山 芳次	く	ず	は	RC	
山口 彰夫	く	ず	は	RC	
米田 勉	く	ず	は	RC	
田代 和	大	阪	RC		
笹倉 敏彦	大	阪	RC		
辻本 健二	大	阪	RC		
藤野 洋一	大	阪	東	RC	
三原 敏彰	大	阪	東	RC	
佐々木 恭一	大	阪	東	RC	
百々 季仁	大	阪	リバーサイド	RC	
藤本 佳之	大	阪	リバーサイド	RC	
一瓢 秀次	大	阪	北	RC	
梶原 常義	大	阪	北	RC	
小谷 泰造	大	阪	北	RC	
柘田 圭児	大	阪	北	RC	
松下 靖祐	大	阪	北	RC	
小寺 隆弘	大	阪	西	RC	
片山 美智子	高	槻	RC		

片山 勉	4 回目	大	阪	東	RC
松井 素子	2 回目	大	阪	リバーサイド	RC
中山 正隆	2 回目	大	阪	リバーサイド	RC
奥中 克治	3 回目	大	阪	リバーサイド	RC
高田 知彦	2 回目	大	阪	リバーサイド	RC
江崎 正道	1 回目	大	阪	北	RC
後藤 二郎	2 回目	大	阪	北	RC
原 眞一	1 回目	大	阪	北	RC
飯田 正弥	3 回目	大	阪	北	RC
河野 眞一郎	1 回目	大	阪	北	RC
栗本 友和	1 回目	大	阪	北	RC
丸山 雅祥	2 回目	大	阪	北	RC
阪口 善雄	1 回目	大	阪	北	RC
八木 一雄	1 回目	大	阪	北	RC
吉田 邦男	1 回目	大	阪	北	RC
吉治 仁義	2 回目	大	阪	北	RC
辻本 泰直	1 回目	大	阪	住之江	RC
鴻池 忠彦	1 回目	大	阪	西	RC
岡 亘	1 回目	大	阪	西	RC
三枝 輝行	1 回目	大	阪	西	RC
清水 美溥	2 回目	大	阪	西	RC
生駒 俊雄	2 回目	高	槻	RC	
松尾 浩	1 回目	高	槻	RC	
米田 真	3 回目	豊	中	RC	
田中 守	2 回目	豊	中	RC	
有村 善雄	3 回目	大	阪	船場	RC
小山 章松	3 回目	大	阪	船場	RC
大磯 隆一	4 回目	大	阪	船場	RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

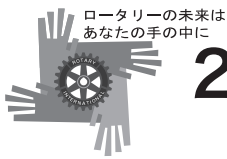
次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2009)

義之 清規	1 回目	東	大	阪	RC	
石橋 英司	1 回目	東	大	阪	RC	
川又 章蔵	1 回目	東	大	阪	東	RC
斉藤 勝俊	1 回目	東	大	阪	東	RC
金森 市造	1 回目	く	ず	は	RC	
宮田 明	1 回目	く	ず	は	RC	
中田 有紀	1 回目	茨	木	東	RC	
井村 達男	1 回目	大	阪	RC		
石川 正	2 回目	大	阪	RC		
丸山 功	1 回目	大	阪	RC		
塩野 秀作	1 回目	大	阪	RC		
山田 一郎	3 回目	大	阪	RC		
山本 良一	1 回目	大	阪	RC		
富江 弘吉	1 回目	大	阪	RC		

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2009)

森 賢司	く	ず	は	RC	
森 専雅	茨	木	東	RC	
井村 達男	大	阪	RC		
谷野 清孝	大	阪	阪	南	RC
石田 由美子	大	阪	リバーサイド	RC	
伊藤 定夫	大	阪	リバーサイド	RC	
清水 英文	大	阪	リバーサイド	RC	
前田 葉子	大	阪	リバーサイド	RC	
江崎 正道	大	阪	北	RC	
永通 明温	大	阪	心齋橋	RC	



2009年 12月度 会員数・出席報告

2009～2010
GOVERNOR'S
MONTHLY
LETTER

2
2010. VOL. 8

I M組	クラブ名	7月期初会員数	12月 会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	I M組	クラブ名	7月期初会員数	12月 会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
			全員	女性										全員	女性						
I M第1組	池田	38	37	2	0	1	-1	4	67.57	65.54	I M第5組	大阪北梅田	50	47	4	0	3	-3	3	78.91	66.67
	池田くれは	40	38	1	3	5	-2	3	81.67	80.66		大阪西	84	81	0	2	5	-3	3	90.41	82.48
	箕面	29	30	1	1	0	1	4	85.30	80.76		大阪大淀	47	47	0	0	0	0	3	86.57	82.09
	箕面中央	24	24	0	0	0	0	3	90.62	85.95		大阪リバーサイド	35	35	5	1	1	0	4	94.33	83.46
	豊中	47	47	2	0	0	0	4	86.88	78.99		大阪西北	57	57	0	0	0	0	3	94.17	86.67
	豊中南	40	40	1	1	1	0	3	85.09	79.29		大阪そねざき	54	52	31	0	2	-2	3	94.23	81.06
	豊中-大阪国際空港	22	22	0	1	1	0	3	78.43	75.40		大阪梅田	46	45	0	1	2	-1	4	82.69	77.76
	豊中千里	38	38	3	1	1	0	4	89.33	80.66		大阪梅田東	36	38	0	2	0	2	3	90.35	75.43
	小計	278	276	10	7	9	-2		83.11	78.41		大阪ユニバーサルシティ	27	27	2	1	1	0	3	97.44	88.46
I M第2組	茨木	26	26	2	0	0	0	3	93.87	90.50	小計	697	691	48	18	24	-6		88.76	79.08	
	茨木東	46	45	3	0	1	-1	3	85.85	80.56	大阪	252	258	0	14	8	6	3	72.40	60.59	
	茨木西	25	27	6	2	0	2	4	92.25	75.00	大阪東	120	121	0	4	3	1	3	92.01	73.84	
	千里	49	47	0	0	2	-2	4	88.02	84.65	大阪東淀ちやまち	41	39	6	0	2	-2	3	78.41	68.67	
	千里メイプル	27	25	3	0	2	-2	4	97.00	93.00	大阪城東	49	49	5	3	3	0	3	89.96	84.25	
	摂津	40	39	2	0	1	-1	4	92.43	81.47	大阪中之島	32	31	2	2	3	-1	3	85.05	81.60	
	吹田	64	64	6	0	0	0	4	92.07	80.16	大阪大手前	42	43	3	2	1	1	3	85.09	80.36	
	吹田江坂	42	44	3	2	0	2	4	93.83	87.64	大阪城北	60	58	1	0	2	-2	3	84.82	83.59	
	吹田西	47	50	1	3	0	3	3	100.00	90.85	大阪天満橋	74	73	0	0	1	-1	4	88.21	84.39	
	高槻	49	50	3	2	1	1	4	90.09	82.76	大阪鶴見	36	36	1	1	1	0	4	83.98	83.98	
	高槻東	42	40	0	1	3	-2	4	94.50	91.85	大阪淀川	40	37	2	0	3	-3	4	94.86	82.58	
	高槻西	26	25	0	0	1	-1	3	89.39	87.88	新大阪	38	36	0	1	3	-2	3	80.70	70.17	
	小計	483	482	29	10	11	-1		92.44	85.53	小計	784	781	20	27	30	-3		85.04	77.64	
I M第3組	大東	47	47	0	1	1	0	4	95.79	92.16	大阪フレンド	17	16	5	0	1	-1	3	76.47	71.32	
	大東中央	32	33	11	1	0	1	3	78.60	69.78	大阪本町	27	26	2	0	1	-1	4	80.16	72.53	
	枚方	41	44	0	4	1	3	4	92.24	85.19	大阪御堂筋	36	36	0	0	0	0	4	90.44	78.68	
	門真	27	28	2	2	1	1	4	84.82	83.04	大阪南	127	128	0	5	4	1	4	77.96	66.97	
	交野	23	24	1	1	0	1	3	80.13	80.13	大阪難波	57	54	0	0	3	-3	4	87.80	69.30	
	香里園	19	18	0	0	1	-1	3	93.47	73.89	大阪なにわ	34	30	1	1	5	-4	5	83.85	73.31	
	くずは	55	56	0	1	0	1	3	92.83	77.67	大阪南西	20	20	4	0	0	0	4	97.06	84.07	
	守口	41	42	3	1	0	1	4	88.01	77.98	大阪西南	93	89	12	0	4	-4	3	98.81	75.09	
	守口イブニング	23	26	4	3	0	3	4	75.96	74.04	大阪船場	45	44	0	1	2	-1	3	98.00	88.00	
	寝屋川	42	41	4	0	1	-1	4	90.24	81.11	大阪心斎橋	38	37	0	0	1	-1	4	96.66	81.39	
	四條畷	13	13	0	0	0	0	3	91.41	91.41	大阪うつぼ	41	41	6	2	2	0	4	85.20	79.10	
	小計	363	372	25	14	5	9		87.59	80.58	小計	535	521	30	9	23	-14		88.40	76.34	
	I M第4組	東大阪	75	71	0	1	5	-4	4	88.77	80.23	大阪阿倍野	18	18	2	1	1	0	3	92.37	84.86
東大阪中央		41	41	0	1	1	0	3	82.64	81.72	大阪阪南	47	44	1	1	4	-3	4	84.59	80.81	
東大阪東		70	72	6	3	1	2	4	87.23	73.55	大阪平野	36	37	4	1	0	1	4	100.00	87.91	
東大阪みどり		27	28	1	1	0	1	4	79.46	63.39	大阪イブニング	21	22	5	1	0	1	4	76.14	71.59	
東大阪西		38	40	0	2	0	2	3	93.25	63.40	大阪城南	59	56	0	2	5	-3	4	96.09	87.74	
大阪柏原		35	35	4	0	0	0	4	87.22	86.44	大阪咲洲	22	21	1	0	1	-1	3	86.36	65.15	
大阪ネクスト		17	20	8	3	0	3	3	76.00	60.00	大阪住之江	25	24	1	0	1	-1	3	98.61	83.19	
八尾		83	82	0	1	2	-1	3	98.10	70.88	大阪住吉	32	31	2	0	1	-1	3	84.62	71.79	
八尾中央		23	24	2	1	0	1	4	88.64	80.68	大阪天王寺	19	19	0	0	0	0	3	90.30	82.68	
八尾東	29	29	2	0	0	0	4	63.96	60.16	大阪東南	53	57	0	6	2	4	4	92.98	72.28		
小計	438	442	23	13	9	4		84.53	72.05	小計	332	329	16	12	15	-3		90.21	78.80		
I M第5組	大阪中央	57	56	5	3	4	-1	4	91.37	84.04	合計	クラブ数	7月期初会員数	12月 月未会員	女性会員	入会者数累計	退会者数累計	増減	平均出席率	平均出席率	
	大阪堂島	31	32	1	2	1	1	4	81.06	75.00		85	3910	3894	201	110	126	-16	87.5	78.6	
	大阪北	173	174	0	6	5	1	3	83.53	65.87											

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料につ

いてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

——— 最近のロータリー情報から ———

- ◎ 「奉仕理念の提唱者 アーサー・フレデリック・シェルドン」
田中 毅 2009 22p (D.2580職業奉仕セミナー講演集)
 - ◎ 「職業奉仕における個人と職業の倫理」
深川純一 2009 19p (D.2580職業奉仕セミナー講演集)
 - ◎ 「『ロータリーの心もとめ』より」海田 司 2009 4p
 - ◎ 「国際ロータリーのビルダー」塚原 房樹 2009 3p (私の“Rotary Notes”)
 - ◎ 「井坂孝の説いた職業倫理を踏襲して」鈴木清次 2009 8p (井坂孝の足跡)
 - ◎ 「職業奉仕に誇りを!!」村上有司 2009 1p (D.2640月信)
 - ◎ 「職業奉仕について」原田實太郎 2009 4p (D.2730月信)
 - ◎ 「ロータリアンは同業者・業界でもっと積極的行動を」竹中秀夫 2009 1p (D.2680月信)
- [上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

〈お知らせ〉

研修委員交代

2010年1月より

北川 哲（大阪南RC）→木村芳樹（大阪南RC）

敬弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

田中 敬一会員（大阪東南RC）

2009年12月20日逝去（享年67歳）

副会長、クラブ奉仕委員長、ロータリー財団委員長

米山功労者（マルチプル）、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

中西 正七会員（大阪梅田RC）

2009年12月31日逝去（享年84歳）

会長、副会長、理事、職業奉仕委員長、ロータリー情報委員長

国際奉仕委員長、出席委員長、会報委員長、クラブ奉仕委員長

米山功労者（マルチプル）、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

槇本 昭彦会員（大阪東淀ちややまちRC）

2010年1月3日逝去（享年66歳）

国際奉仕・WCS委員長

月信編集委員会からのおねがい

○ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

○投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

○物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料（年間2,000円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

・ガバナー	大谷 透
・地区代表幹事	四宮 孝郎
・地区副代表幹事	上田 直樹
・担当地区幹事	増田 國次
・担当地区幹事	池田 輝
・担当地区幹事	阿部 恭三
・事務局長	今井 貢二

2009～2010年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

事務局スタッフ

ガバナー	大谷 透
地区代表幹事	四宮 孝郎
地区副代表幹事	上田 直樹
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

勤務時間

9：30～17：00

休日

土曜、日曜、祝日

夏 期 2010年 8月10日(火)～2010年 8月15日(日)

年 末 年 始 2010年12月29日(水)～2011年 1月 4日(火)

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。
最多 36名
詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

所在地・電話・ファックス

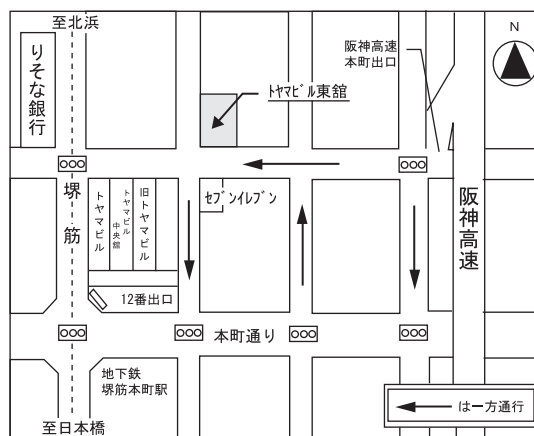
〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL:06-6264-2660
FAX:06-6264-2661

ホームページアドレス

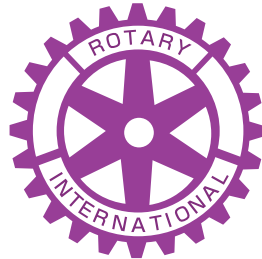
<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

2009～2010
GOVERNOR
TORU OTANI

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
TEL:06-6264-2660 FAX:06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F, Toyama Bldg. East, 1-5-11, Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052, JAPAN
Phone:81-6-6264-2660 FAX:81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp